

《厚生労働省 推薦》 《文部科学省 選定(青年・成人・家庭向き)》 《内閣府 後援》

あなたの瞳、きらきらしとる!



Story [ストーリー]

看護師国家試験に合格したろうの女性の瑞月(みづき)は、就職活動で苦戦。そんな折、ある村の診療所で雇われる話が舞い込み、意気揚々と村にやってきた瑞月。しかし、採用を見送られることになり、落ち込む瑞月に役場から思わぬ仕事の紹介が…。村に住みながら懸命に取り組む瑞月だったが、様々な壁が瑞月を阻んでいく。相手を想っての行動が思わぬすれ違いを生み、そのわだかまりを解くこともできずに苦しんでいる大人たち。瑞月の起こす行動は、そんな大人たちを少しずつ変えていく。そして、村も大きく変わっていく…。



Commentary [コメンタリー]

全日本ろうあ連盟、初の製作映画『ゆずり葉』(2009年)は、上映会場750か所、上映回数1250回、動員40万人を突破し、各界から大きな反響を得た。前作から十年余り、国連障害者権利条約の批准を契機にろう者の言葉である「手話言語」が認知され、各地で手話言語条例が広がり、教育、司法、医療など、各分野で活躍するろう者も増え、ろう者や手話言語について社会の理解が進んでいる。しかし、「きこえない、きこえにくい」ということによる社会の障壁、差別、偏見はなくなったわけではなく、目まぐるしく変わる社会情勢による新たな問題も生まれ、課題は多く残っている。2017年に創立70周年を迎えた連盟は、きこえに関係なく様々な人々が共生していく社会を目指し、再び映画製作に挑戦した。映画『笑む(えむ)』は、一人の若きろうの女性を通して、喜びや葛藤の中で生き、

様々な障壁を乗り越えていく姿から、「ろう者」とは「きこえない」とは何かということ。そして、「手話言語」は魅力的で素晴らしい言葉であること、ろう者独自の文化を市民に広く伝え、ろうの子どもたち、また若いうろう者、家族等に幅広く夢を与えていくことをコンセプトに製作した。脚本・監督は『ゆずり葉』に続き早瀬憲太郎。これまでの経験を活かし、きこえる俳優・スタッフと見事に連携し、新たなエンターテインメントを創りあげた。主人公の瑞月役を、NHK「中学生日記」に出演した藤田菜々子(ろう者)が熱演。彼女を見守る家族に高島良宏、鈴まみのろう俳優。村で瑞月を迎えるのは、島かおり、丘みつ子、佐藤蟻次郎など素晴らしい俳優陣。盲ろう者やほかの障害のある人たちも出演する映画『笑む』は、観る人すべての人を笑顔にする。



藤田 菜々子 島 かおり 赤塚 真人 宮下 順子 田中 康寛 高島 良宏 鈴まみ 山中 蓮媛 伊是名 夏子 佐藤 蟻次郎 丘 みつ子
脚本・翻訳・監督：早瀬憲太郎 製作総指揮：石野富志三郎 プロデューサー：久松三二 新井英夫 音楽：小林洋平 撮影：藤本雅三(J.S.C) 照明：奥村誠 録音：都弘道 美術：津留啓亮
装飾：平川泰光 編集：山崎梓 スクリプター：吉田久美子 ラインプロデューサー：武田千明 制作担当：富田政男 衣装：宮本まき江 ヘアメイク：オオクボエミコ
制作プロダクション：株式会社ターゲット アドバイザー：山本おさむ 中橋真紀人 手話言語監修：高塚登 木村晴美 [2020年/115分/日本手話言語/日本語字幕/音声ガイド(UDcast対応)]



映画に関するお問い合わせ ▶▶▶ 一般財団法人全日本ろうあ連盟
〒162-0801 東京都新宿区山吹町130 SKビル8階 E-mail: movie@jfd.or.jp
TEL:03-3268-8847 FAX:03-3267-3445 URL: https://www.emu-movie.jp

UDcast対応



【日時】2022年10月30日(日) 第1回 午前10時~12時・第2回 午後14時~16時

【場所】山梨市民会館303会議室(山梨市万力1830番地) (受付開始: 第1回9:30~。第2回13:30~)

【チケット】1,200円(高校生以上) 500円(小中学生) ※乳幼児無料

【申込先】主催: 山梨市聴覚障害者協会 ■事前にチケットをご購入下さい。

電話・FAX兼用0553-22-3848 (メガネの愛眼堂・9:30~18:00 日曜・祭日定休日を除く)

なお、会場が第1回と第2回の定員に達した場合は申込終了とさせていただきます。

【後援】山梨県・山梨市・山梨市教育委員会・山梨市社会福祉協議会・山梨市障害者福祉会・山梨放送・山梨日日新聞社